



Title	業績リスト(1997)
Author(s)	
Citation	大阪大学看護学雑誌. 1998, 4(1), p. 68-80
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/56759">https://hdl.handle.net/11094/56759</a>
rights	©大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 業績リスト (1997)

### 基礎看護学講座

#### 1. 論文 (原著, 総説, 報告書等)

- 1) Ogasawara, C. Sakakibara, H. et al.; Longitudinal study on factors related to the course of vibration induced white finger, *Inte Arch Occup Envirn Health* 69:180 - 184, 1997.
- 2) 小笠原知枝, 久米弥寿子, 田中結華, 辻聰子, 阿曾洋子, 松木光子: 基礎看護学における看護技術の指導法に関する研究, 平成7-8年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書, p.1 - 92, 1997.
- 3) 小笠原知枝: がん患者の痛みの管理と緩和ケアーフィールドスタディーを通して, 大阪大学看護学雑誌, 3 (1):3-10, 1997.
- 4) 松木光子, 小笠原知枝, 江川隆子, 大野優子, 大谷英子, 山本裕子他: 看護情報システム構築のための看護診断の標準化と評価用具のソフト開発, 平成7-8年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書, p.1 - 127, 1997.
- 5) 徳山祥子, 川村佐和子, 数間恵子, 牛込三和子, 輪湖史子, 大野ゆう子, 在宅経気管人工換気療法者の気道净化看護に関する研究, 1997, 日本呼吸管理学会誌, (in press)
- 6) 池内桂子, 中野智津子, 阿曾洋子, 黒田公子, 吉田正子, 津村潤子, 檀浦妙子: 職場適応に関する総合的研究(第6報) - 看護に対する姿勢と看護実践内容の関連からみた教育内容の検討-, 神戸市看護大学短期大学部紀要, 16, 17 - 22, 1997.
- 7) 黒田公子, 中野智津子, 阿曾洋子, 池内桂子, 吉田正子, 津村潤子, 檀浦妙子: 職場適応に関する総合的研究(第7報) - 看護に対する姿勢と性格・適性との関連(1)-, 神戸市看護大学短期大学部紀要, 16, 23 - 30, 1997.
- 8) 阿曾洋子, 多田羅浩三, 浅井正雄: 在宅要介護老人の13年間の推移からみた老人医療と介護状況の実態, 大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告集, 10, 1 - 17, 1997.
- 9) 阿曾洋子, 久米弥寿子: ボディイメージカニクス, 看護技術, 43 (15), 97 - 104, 1997.
- 10) 平河勝美: 編入学制度の運用と教育内容に求められるもの, Quality Nursing, 3 (7), 17 - 23, 1997.
- 11) 田中結華, 久米弥寿子, 辻聰子: 本学看護学生の日常生活の実態調査-看護教育の視点からの分析-, 大阪大学看護学雑誌, 3 (1): 43 - 49, 1997.
- 12) 久米弥寿子: がん告知に対する態度とそれに関連する要因-青年期・壮年期にある就労者の分析-, がん看護, 2 (3), 220 - 226, 1997.
- 13) 久米弥寿子, 辻聰子, 森田輝代: 進行肺がんにおける呼吸困難・咳嗽の緩和ケア3, インフォームド・コンセントと看護の役割, がん看護, 2 (4), 282 - 285, 1997.
- 14) 辻聰子, 久米弥寿子, 森田輝代: 進行肺がんにおける呼吸困難・咳嗽の緩和ケア2, 緩和ケア, がん看護, 2 (4), 277 - 281, 1997.

#### 2. 単行本(著書, 翻訳本)

- 1) 小笠原知枝・松木光子監訳編: ベタードキュメンテーション看護過程に沿った看護記録, 南江堂, 1997年。
- 2) 阿曾洋子(氏家幸子監修, 土居洋子, 泉キヨ子編): 成人の役割と健康, 成人看護学原論, 廣川書店, 39 - 48, 1997.
- 3) 阿曾洋子(氏家幸子監修, 土居洋子, 泉キヨ子編): 成人を対象とする医療活動, 成人看護学原論, 廣川書店, 67 - 82, 1997.
- 4) 阿曾洋子(氏家幸子監修, 土居洋子, 泉キヨ子編): 成人保健の動向, 成人看護学原論, 廣川書店, 173 - 194, 1997.
- 5) 阿曾洋子(山口昇, 多田羅浩三編): わが国の公衆衛生の現状, 最新介護福祉全書12, 202 - 231, メディカルフレンド社, 1997.

#### 3. 学会発表(抄録, Proceedings)

- 1) Bookbinder, M. Ogasawara, C.: Pain Knowledge, Attitude, and Barriers: A Cross-cultural Study between US and Japanese Nurse, Oncology Nursing Society the 13th Annual Meeting, 1997.
- 2) 小笠原知枝・松木光子・升谷英子他: ボディイメージの障害の妥当性, 看護診断学会, 1997.
- 3) 小笠原知枝・久米弥寿子・辻聰子・田中結華: アセスメント段階における批判的思考能力のトレーニング, 日本看護学教育学会第7回学術集会, 1997.
- 4) 小笠原知枝・久米弥寿子・辻聰子・田中結華: 痛み管理の妨害因子と看護婦の知識・態度に関する日米比較研究, 第17回日本看護科学学会, 1997.
- 5) 阿曾洋子, 中野智津子, 池内桂子, 吉田正子: 看護技術項目「観察」の習熟度に関する自己評価の変化からみた看護教育の検討, 第7回日本看護学教育学会, 1997.
- 6) 阿曾洋子, 藤田恵子, 高鳥毛敏雄, 多田羅浩三: 在宅寝たきり老人の自立意欲維持に関する要因, 第56回日本公衆衛生学会, 1997.
- 7) 阿曾洋子: 在宅寝たきり老人の自立意欲に対する看護アプローチ, 第2回日本老年看護学会, 1997.
- 8) 阿曾洋子, 中野智津子, 黒田公子, 吉田正子: 新卒看護婦と病院指導者の看護実践, 看護姿勢及び職場サポートに対する評価の比較-就職後3ヶ月, 1年後, 2年後, 3年後の追跡調査から-, 第17回日本看護科学学会, 1997.
- 9) 池内桂子, 中野智津子, 黒田公子, 阿曾洋子, 吉田正子: 職場適応に関する総合的研究-3年間の自己評価でみる新卒看護婦の成長に関する要因-, 第17回日本看護科学学会, 1997.
- 10) 服部鏡子, 栗田桂子, 鳥居芳江, 多田賀津子, 繩秀志, 平河勝美, 近田敬子: 臨床実習指導における看護婦の意識構造に関する研究-困っている現象とよかったと思っている現象との比較分析-, 第28回日本看護学会集録-看護教育-, 94 - 97, 1997.

- 11) 辻聰子, 小笠原知枝, 田中結華, 久米弥寿子, 阿曾洋子, 松木光子: 臨床の看護ケアと関連づけた基礎看護技術教育における指導法の検討(その3) - 治療処置介助技術の指導領域について-, 日本看護科学会誌, 17 (3), 第17回日本看護科学学会講演集: 438 - 439, 1997.

#### 4. 研究助成

- 1) 平成9年度文部省科学研究費(基盤研究C), 小笠原知枝, 大野優子, 阿曾洋子, 田中結華, 久米弥寿子, 辻聰子: ターミナル期にある癌患者の痛み管理とサポートケアを妨害する因子の抽出とその対策.
- 2) 平成9年度文部省科学研究費(奨励研究A), 久米弥寿子: コミュニケーション技術の教育方法の検討-視線の動きの測定評価に基づく自己評価法の開発.

### 母性・小児看護学講座

#### 1. 論文(原著, 総説, 報告書等)

- 1) 鈴木敦子: 子どもの在宅ケアの将来展望, 小児看護 20 (2), 228 - 232, へるす出版, 1997.
- 2) 鈴木敦子: 子どもの虐待とNICUにおけるケアの方向, 日本新生児看護研究会誌, 第4号, 3 - 13, 1997.
- 3) 鈴木敦子: 被虐待児への初期対応とアプローチ, 小児看護 20 (7), へるす出版, 886 - 891, 1997.
- 4) 鈴木敦子, 楠木野裕美, 鎌田佳奈美, 上野昌江, 石原あや, 福井典子, 山田和子, 親川真理子, 山本順子, 友田尋子, 若林栄子: 被災した子どもに対する心のケアへの看護職のかかわりに関する研究, 研究報告書, 1997.
- 5) Fujiwara-H, Tatsumi-K, Miki-K, Harada-T, Miyai-K, Takai-S, Amino-N: Congenital hypothyroidism caused by a mutation in the Na<sup>+</sup>/I<sup>-</sup> symporter, Nat-Genet, (2): 124 - 5, 1997.
- 6) 吉村文一, 位田 忍, 古座岩宏輔, 沢田 敦, 三木和典, 田尻 仁, 岡田伸太郎, 原田徳蔵: <sup>13</sup>C-尿素呼気試験による小児のH. pylori感染の経時的観察, 日本小児栄養消化器病学会雑誌, 11 (1): 45 - 47, 1997.
- 7) 古座岩宏輔, 田尻 仁, 澤田 敦, 多田香苗, 恵谷ゆり, 尾崎由和, 三木和典, 原田徳蔵, 岡田伸太郎: 小児慢性肝疾患の超音波パルスドプラ法による門脈圧亢進症の診断, 日本小児科学会雑誌, 101 (9): 1373 - 1377, 1997.
- 8) 岡田伸太郎, 原田徳蔵, 田尻 仁, 加藤伴親: 小児期からの総合的な健康づくりに関する研究, PL学園における3年毎の追跡調査, 厚生省心身障害研究平成8年度研究報告書, 99 - 103, 1997.
- 9) 加藤晴一, 小林昭夫, 杉山俊郎, 今野武津子, 友政 剛, 原田徳蔵, 藤沢卓爾, 米沢俊一, 田沢雄作, 小口 学, 山城雄一郎, 豊田 茂, 小島邦彦, 蜂矢正彦, 餅本完二, 奥田真珠美, 小池通夫, 虹川大樹, 名倉 宏, 今野多助: 小児のHelicobacter pylori除菌療法に関するガイドライン (案)の提唱, 日本小児栄養消化器病学会雑誌, 11 (2): 173 - 176, 1997.
- 10) 原田徳蔵, 宮井 潔: 私の処方とその解説-クレチニン症・橋本病, 今月の治療, 投稿中.
- 11) 高木洋治: 在宅輸液療法-適応と起こりやすいトラブルへの対策, 生活教育, 41 (7), 67 - 73, 1997.
- 12) 高木洋治, 岡田 正: 治療・管理の基本とケアのポイント, 栄養・食事療法, 小児看護, 20 (4), 474 - 483, 1997.
- 13) 高木洋治: 亜鉛の服用は感冒に対して有効か, 医学のあゆみ, 183 (2), 167 - 169, 1997.
- 14) 高木洋治, 岡田 正: 栄養アセスメントの有用性と再評価, JJPEN, 19 (9), 819 - 828, 1997.
- 15) 高木洋治, 岡田 正: 小児と成人における短腸症候群の治療上の問題点, JJPEN, 19 (10), 937 - 942, 1997.
- 16) 高木洋治: 長期在宅栄養管理と経腸栄養, Enteral Nutrition Support, 2 (4), 5 - 9, 1997.
- 17) 高木洋治: 高カロリー輸液とマンガン, 現代栄養療法のポイント, 3 (2), 14 - 17, 1997.
- 18) 飯干泰彦, 井上正宏, 垣田晴樹, 野瀬恵介, 山東勤弥, 和佐勝史, 鎌田振吉, 岡田 正, 根津理一郎, 高木洋治: 小腸大量切除例における尿素サイクル構成アミノ酸, アンモニア原性アミノ酸の検討, 消化と吸収, 20 (1), 25, 1997.
- 19) 吉田 洋, 山東勤弥, 飯干泰彦, 和佐勝史, 根津理一郎, 高木洋治, 岡田 正: 心電図モニターを利用した中心静脈カテーテル挿入法-mislodging予防に関する有用性-, 日本臨床外科医学会雑誌, 58 (4), 740 - 744, 1997.
- 20) 吉田 洋, 飯干泰彦, 山東勤弥, 和佐勝史, 根津理一郎, 高木洋治, 岡田 正: Zymosan腹膜炎による慢性多臓器障害モデル-TPN施行下でのzymosan投与量に関する検討-, 外科と代謝・栄養, 31 (4), 219 - 224, 1997.
- 21) 佐藤美奈子, 和佐勝史, 飯鳴千里, 田中清美, 垣田晴樹, 野瀬恵介, 飯干泰彦, 高木洋治, 岡田 正: HPN施行症例における栄養管理チームの中での看護婦の役割, JJPEN, 19 (2), 117 - 119, 1997.
- 22) 中西千里, 和佐勝史, 山東勤弥, 野瀬恵介, 飯干泰彦, 高木洋治, 岡田 正: 高齢者HPN症例に対する看護上の問題点と対策, 癌と化学療法, 24, 529 - 531, 1997.
- 23) Sando K. Fujii M. Tanaka K. Chen K. Yoshida H. Iiboshi Y. Nezu R. Konishi K. Takagi Y. Okada A.: Lock method using sodium hydroxide solution to clear occluded central venous devices. Clin. Nutr., 16, 185 - 188, 1997.
- 24) Iiboshi Y. Nezu R. Khan J. Yoshida H. Sando K. Fukuzawa M. Kamata S. Takagi Y. Okada A.: Developmental changes in distribution of the mucous gellayer in rat small intestine. Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition, 6(2), 111 - 115, 1997.
- 25) Cui L. Zhen H. Matsumoto M. Ji-Yao Li. Ueda H. Oiki E. Takagi Y. Okada A. Yanagihara T.: Zinc-deficiency increases infarct size following permanent middle cerebral artery occlusion in rats. Nutrition Research, 17 (2), 305 -

- 316, 1997.
- 26) Cui L. Takagi Y. Waga M. Iiboshi Y. Khan J. Nezu R. Okada A.: Induction of nitric oxide synthase in rat intestine by interleukin-1  $\alpha$  may explain diarrhea associated with zinc deficiency. *Journal of Nutrition*, 127 (9), 1729 – 1736, 1997.
- 27) Cui L. Takagi Y. Wasa M. Iiboshi Y. Inoue M. Khan J. Sando K. Nezu R. Okada A.: Zinc deficiency enhances interleukin-1  $\alpha$ -induced metallothionein-1 expression in rats. *Journal of Nutrition*, (in press).
- 28) Chen K. Nezu R. Inoue M. Wasa M. Iiboshi Y. Fukuzawa M. Kamata S. Takagi Y. Okada A.: Beneficial effects of growth hormone combined with parenteral nutrition in the management of inflammatory bowel disease, an experimental study. *Surgery*, 121 (2), 212 – 218, 1997.
- 29) Chan J. Iiboshi Y. Nezu R. Chen K. Cui L. Yoshida H. Wasa M. Fukuzawa M. Kamata S. Takagi Y. Okada A.: Total parenteral nutrition increases uptake of latex beads by Peyer's patches. *JPEN*, 21 (1), 31 – 35, 1997.
- 30) Haque SM Mazurul, Okada A. Chen k. Ushi N. Iiboshi Y. Okuyama H. Masunari A. Nezu R. Takagi Y.: Effects of endotoxin on intestinal hemodynamics, glutamine metabolism and function. *Surgery Today*, 27, 500 – 505, 1997.
- 31) Znen H. Matsumoto M. Cui L. Ji-Yao L. Ueda H. Oiki E. Takagi Y. Okada A. Yanagihara T.: Zinc-deficiency increases infarct size following permanent middle cerebral artery occlusion in rats. *Nutrition Research*, 17, 305 – 316, 1997.
- 32) Chen Dong-Li Sando K. Chen K. Wasa M. Takagi Y. Okada A.: Protective effects of selenium supplementation in minimizing 5 fluorouracil induced lipid peroxidative damage of the small intestine. *J. Trace Elements Research in Exp Medicine*, 10, 163 – 171, 1997.
- 33) 勝田仁美, 南 裕子, 安藤広子, 太田喜久子, 岡谷恵子, 片田範子, 高谷嘉枝, 中西睦子, 堀井理司, 森 恵美: 看護系大学における研究の倫理審査の体制に関する実態調査, 日本看護科学会誌, 17 (2), 79 – 84, 1997.
- 34) 堀井理司, 鎌田佳奈美, 山崎不二子, 林 滋子: MRSA 感染児および家族のニーズについて, 日本看護管理学会誌, 1 (1), 61 – 69, 1997.
- 35) 堀井理司, 高谷嘉枝, 森 恵美, 安藤広子, 太田喜久子, 岡谷恵子, 片田範子, 勝田仁美, 川村佐和子, 土居洋子, 中西睦子, 南 裕子: 薬害エイズ問題に関する看護職の倫理的認識と対応の実態, 日本看護科学会誌, 17 (4), 69 – 75, 1997.
- 36) 鎌田佳奈美: 家庭療養に向けての指導のポイント: 栄養管理を必要とする場合, 小児看護, 20 (11), 1532 – 1536, 1997.
- 37) 秋田陽子, 高見由美子, 津田圭子, 西岡寿恵子, 濑川由美子, 田中春美, 喜多淳子, 神崎 徹, 福家信二, 村田雄二: 子宮内胎児発育遅延の早期発見に対する子宮底長と腹囲測定の意義, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 29 – 30, 1997.
- 38) 浦野由紀, 奥村ゆかり, 七種志帆, 鈴 友理子, 喜多淳子, 田中春美, 濑川由美子, 三宅 侃, 倉智博久, 村田雄二: 産科におけるMRIの有用性, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 31 – 37, 1997.
- 39) 井上千佐, 岡村知恵, 多賀美幸, 田中由美子, 田中春美, 濑川由美子, 喜多淳子, 松本小百合, 乾 幸治, 岡田伸太郎, 神崎 徹, 村田雄二: 特発性血小板減少性紫斑病母体より出生した新生児の血小板数の予測に関する研究, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 45 – 48, 1997.
- 40) 岩橋正子, 井上直美, 岡田公江, 清水美穂, 田中春美, 濑川由美子, 喜多淳子, 村田雄二: 小学生の対児感情の良否に関連する要因について, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 101 – 106, 1997.
- 41) 下村すずか, 稲垣博子, 角田修子, 吉村純子, 田中春美, 濑川由美子, 喜多淳子, 古山将康, 久保田康愛, 下屋浩一郎, 佐治文隆, 村田雄二: 超音波断層法にてとらえられた反復流産の流産形態とその原因疾患との相関に関する研究, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 107 – 109, 1997.
- 42) 田中春美, 田間惠實子, 窪田英明, 芦田信之, 長谷川利典, 中嶋有加里, 山地建二: 母子保健サービスの情報提供ネットワーク, 第17回医療情報学連合大会論文集, 818 – 819, 1997.
- 43) 長谷川利典, 芦田信之, 窪田英明, 田中春美, 田間惠實子, 山地建二: プライベートヘルスデータベース PHDB 個人健康・診療情報について, 第17回医療情報学連合大会論文集, 822 – 823, 1997.
- 44) 長谷川利典, 芦田信之, 窪田英明, 田中春美, 田間惠實子, 山地建二: 医療情報学教育の構造化について, 第17回医療情報学連合大会論文集, 604 – 605, 1997.
- 45) 芦田信之, 窪田英明, 長谷川利典, 田中春美, 田間惠實子, 山地建二: 新しい医療情報教育カリキュラムとその実施後の評価, 第17回医療情報学連合大会論文集, 618 – 619, 1997.
- 46) 中嶋有加里, 細野剛良, 羽座典子, 山地建二: 妊婦の自転車運転に関する研究(第一報) - 小豆島における実態調査 -, 大阪大学看護学雑誌, 3 (1), 11 – 18, 1997.
- 47) 中嶋有加里, 田間惠實子, 山地建二, 鏡堂美恵, 益弘和雄, 梶本 勝, 藤岡千秋: 乳児をもつ母親の保健行動の変化に関する研究, 日本健康教育学会誌, 5, 66 – 67, 1997.
- 48) 中嶋有加里, 竹内愛美, 大濱美香, 高柳香里, 森本 恵, 細野剛良, 小山田浩子, 田間惠實子, 山地建二, 羽座典子: 妊娠・出産に伴う腹部の変化について, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 55 – 57, 1997.
- 49) 中嶋有加里, 吉田恵美子, 有馬志津子, 福録恵子, 細野剛良, 小山田浩子, 田間惠實子, 山地建二, 羽座典子: 里帰り分娩に関する考察, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 65 – 67, 1997.
- 50) 中嶋有加里, 細野剛良, 田間惠實子, 山地建二, 羽座典子:

- マタニティ・ドライビングに関する実態調査, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 110 – 113, 1997.
- 51) 水畠喜代子, 中嶋有加里, 小山田浩子, 長谷川利典, 細野剛良, 田間恵實子, 山地建二, 羽座典子, 藤岡千秋: 若い両親と児を支援するための地域社会システムの基礎的研究(第2報) -乳児をもつ母親の意識調査-, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 129 – 131, 1997.
- 52) 小山田浩子, 中嶋有加里, 山地建二, 鈴木敦子, 原口範子, 米田美幸保, 大迫靖子: 思春期外来における援助に関する研究-初期情報からみた受診者の自己像-, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1), 89 – 91, 1997.
- 53) 小山田浩子, 山地建二, 鈴木敦子, 原口範子, 米田美幸保, 西崎孝道: 思春期外来受診者の栄養摂取とライフスタイル-栄養・生活調査から-, 思春期学, 15 (3), 309 – 315, 1997.
- 54) 原口範子, 中尾由紀子, 軸丸清子, 小山田浩子: 思春期外来の看護に活かせる患者データベースの構築, 第17回医療情報学連合大会論文集, 90 – 91, 1997.
- 55) 児玉洋子, 佐藤文子, 下辻早苗, 北川浩美, 倉田美智子, 森 久乃, 上原ます子, 小山田浩子: 妊娠・出産・育児における地域病院の役割-妊娠中からの指導の評価と仲間づくりの必要性-, 近畿地区看護研究学会集録, 7 – 10, 1997.
- 56) 森 久乃, 佐藤文子, 児玉洋子, 下辻早苗, 北川浩美, 倉田美智子, 上原ます子, 小山田浩子, 吉田孝子: 地域病院の産科における育児支援ニーズの早期把握方法の検討-過去1年間に出産した母親への調査結果から-, 第28回日本看護学会集録(母性看護), 124 – 125, 1997.
- 57) 田間恵實子, 田中春美, 増 洋: 最古の助産婦教育機関大阪大学医学部附属助産婦学校の閉校-医学部保健学科へ助産婦教育を継続-, 助産婦雑誌, 51 (11), 73 – 78, 1997.
- 58) 宮本正喜, 橋本則男, 入江真行, 河村轍郎, 内藤道夫, 中澤一雄, 服部敏夫, 櫻井律子, 山崎俊司, 高林克己, 里村洋一, 山本和子, 田間恵實子: 学会場におけるLAN敷設の問題点について, 第17回医療情報学連合大会論文集, 502 – 503, 1997.
- 59) 中崎啓子, 田間恵實子, 伊藤幸子: 看護基本用語シソーラスの試作, 第17回医療情報学連合大会論文集, 558 – 559, 1997.
- 60) 高田雅弘, 柴川雅彦, 西尾和子, 福井智子, 中沢一雄, 鈴木 亨, 稲田 紘, 佐々木哲朗, 水島 洋, 内山映子, 吉原博幸, 大西良子, 牛島朝子, 入江真行, 田間恵實子: インターネット環境での医薬品情報提供の試み-WWWを用いた薬の説明書作成システムの実用化にむけた試み-, 第17回医療情報学連合大会論文集, 838 – 839, 1997.
- 61) T. Hasegawa, N. AShida, H. Kubota, H. Tanaka, E. Tama : On a structural concept to educate medical informatics, Proceedings of The Second China-Japan Joint Symposium on Medical Informatics, 67 – 70, 1997.
- 62) T. Hosono, M. Yanase-Fujiwara, Y.H. Zang, Chenziaq-wing, Y. Fukuda, Y. Asaki, K. Yamaji, K. Kanosue : Effect of gonadotropin releasing hormone on thermoregulatory vasomotor activity in ovariectomized female rats, Brain Research, 754, 88 – 94, 1997.
- 63) T. Seki, Y. Orita, K. Yamaji, A. Shinoda : Simultaneous determination of creatine, hypoxanthine and uric acid in biological samples by column-switching liquid chromatography with ultraviolet detection, Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis, 15, 1621 – 1626, 1997.

## 2. 単行本(著書, 翻訳本)

- 1) 原田徳蔵: 胃十二指腸潰瘍(消化性潰瘍), 今日の小児治療指針第11版, 1997年, p307 – 308, 医学書院, 東京
- 2) 飯村直子, 鈴木泰子: 子どもによく見られる症状とその援助, 小児看護学, (編著:筒井真優美) p120 – 129, 日経研出版, 名古屋, 1997.
- 3) 中嶋有加里: 看護記録の基本原則, 「ベタードキュメンテーション-看護過程に沿った看護記録」(小笠原知枝, 松木光子監訳), 南江堂, 2 – 25, 1997.
- 4) 鎌田佳奈美: 記録の法律上の見地, 特別な法的状況, 「ベタードキュメンテーション-看護過程に沿った看護記録」(小笠原知枝, 松木光子監訳), 南江堂, 27 – 58, 1997.
- 5) 石原あや, 鎌田佳奈美, 鈴木敦子, 鈴木泰子, 永島すみえ, 楠木野裕美, 山田美登里, 依藤朋子訳: 入院している幼い子どものこころに安らぎを与えるために, 1997.
- 6) 三井政子, 島田啓子, 岡本喜代子, 長濱博子, 井上佳子, 沖野 幸, 中井恭子, 山本令子, 大西祐紀子, 河相佳子, 藤野百合, 川村恵美, 諸岡豊子, 岡本里美, 長川トシエ, 田中春美, 寺本まり子, 宮本広子: 助産診断の実際~基礎と臨床(助産診断システム研究会編), 日経研出版, 1997.
- 7) 高木洋治: 在宅中心静脈栄養管理のケア, 今日の治療指針1997, 医学書院, 日野原重明, 868, 1997.
- 8) 高木洋治: 経管栄養, 今日の小児治療指針11, 医学書院, 矢田純一, 106, 1997.
- 9) 高木洋治, 岡田 正: 在宅栄養管理・栄養管理チーム, ベッドサイド管理のてびき, 医歯薬出版, 玉熊正悦, 334 – 338, 1997.

## 3. 学会発表(抄録, Proceedings)

- 1) Harada T: Growth and metabolic complication in home parenteral nutrition. 5th Congress of the Asian Pan Pacific Society of Pediatric Gastroenterology and Nutrition, Taipei, 1997.
- 2) 原田徳蔵, 高木洋治, 三木和典, 和佐勝史, 岡田 正: シンポジウム, 腸管不全の病態と治療-静脈栄養から離脱できない難治性下痢症6例の病態について, 第67回日本消化器学会近畿支部例会, 1997.
- 3) 原田徳蔵: 特別講演-小児のハイテク在宅栄養(在宅静脈栄養を中心に), 第35回南大阪小児疾患研究会, 1997.
- 4) 原田徳蔵: 乳幼児の栄養に関する最近のトピック, 平成9年度伊丹市小児科医会

- 5) 原田徳蔵：パネルディスカッション・低年齢児保育と保健活動，平成8年度保育所保育 保健研修セミナー，1997.
- 6) 国府智子，三木和典，多屋馨子，三好洋子，多田香苗，尾崎由和，原田徳蔵，長谷川利路，岡田 正，奥野良信，山西弘一，岡田伸太郎：BA 患児におけるワクチン接種後の免疫獲得についての検討，第24回日本胆道閉鎖症研究会 1997.
- 7) 多田尚人，網野信行，三木和典，原田徳蔵，光田信明：新生児一過性甲状腺機能異常の発症予測法の検討，第31回小児内分泌学会，1997.
- 8) 三木和典，尾崎由和，中島滋郎，田尻 仁，岡田伸太郎，原田徳蔵，網野信行，光田信明，西野さやか：バセドウ病の母親から出生した新生児一過性甲状腺機能異常症5例の長期予後についての検討，第31回小児内分泌学会，1997.
- 9) 松本小百合，三木和典，勝又規行，中島滋郎，原田徳蔵，田中敏章，島 雅昭：卵巣囊腫を伴った先天性副腎リポイド過形成症の1例，第70回日本内分泌学会 1997.
- 10) 古座岩宏輔，沢田 敦，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，三木和典，田尻 仁，岡田伸太郎，原田徳蔵，吉村文一，位田 忍： $^{13}C$ -尿素呼気テスト変法による小児ヘリコバクターピロリ感染の診断，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 11) 三善陽子，恵谷ゆり，田尻 仁，郭 薇，多田香苗，沢田 敦，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：C型肝炎母児感染例の臨床的特徴と肝組織像の検討，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 12) 多田香苗，田尻 仁，郭 薩，三善陽子，恵谷ゆり，沢田 敦，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵，堀田 博：PCR法およびE2抗体測定による小児におけるG型肝炎ウイルス感染率の検討，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 13) 沢田 敦，古座岩宏輔，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：小児慢性肝炎における血中纖維化マーカーの有用性について，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 14) 宮脇久子，沢田 敦，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：シクロスボリンとメソトレキセートの投与によりプレドニゾロンの減量が可能であったステロイド依存性潰瘍性大腸炎の1例，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 15) 角田紀子，沢田 敦，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：アザチオプリンを併用したステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の2例，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 16) 三木和典，田尻 仁，古座岩宏輔，沢田 敦，多田香苗，恵谷ゆり，岡田伸太郎，原田徳蔵，Geoff P. Davidson：小児炎症性腸疾患における腸管粘膜透過性機能の検討，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 17) 下野卓爾，沢田 敦，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：反復性腹痛・嘔吐をきっかけに水腎症が発見された3例，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 18) 指原淳志，沢田 敦，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，恵谷ゆり，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵，虫明聰太郎：先天性クロール下痢症の1例，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 19) 恵谷ゆり，虫明聰太郎，田尻 仁，三善陽子，多田香苗，沢田 敦，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵，大薗恵一：先天性クロール下痢症の1家系におけるDRA (down regulated in adenoma) 遺伝子の変異の検討，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 20) 近藤宏樹，蒲生鐵男，沢田 敦，田尻 仁，古座岩宏輔，三木和典，岡田伸太郎，原田徳蔵：Elemental diet療法が寛解導入・維持に有効であったクローン病の2例，第24回日本小児栄養消化器病学会，1997.
- 21) 高木洋治：栄養サポートチーム (NST) について，平成9年度日本臨床栄養研究会.
- 22) 高木洋治：栄養管理と微量元素，多摩臨床栄養研究会 (9), 2.13.
- 23) 高木洋治：微量元素の栄養学的意義，平成8年度奈良県栄養士会研究発表会 2.28.
- 24) 高木洋治：在宅医療における栄養管理，天理地区医師会定例会講演，10.25.
- 25) 高木洋治：静脈栄養時の微量元素異常，注射薬配合変化予測研究会 (12), 11.8.
- 26) 高木洋治：在宅栄養の実際と問題 (7)，消化器臨床栄養セミナー，11.7.
- 27) 高木洋治：微量元素と栄養，京都府栄養士会・病院栄養士協議会研修会，11.12.
- 28) 高木洋治：在宅栄養の管理について，薬局・病院薬剤師学術講演会 (14), 11.22.
- 29) 高木洋治：栄養因子としてのバイオメタルの欠乏症，公開フォーラム・バイオメタル－生体調節の多彩な役割と病態－，11.20.
- 30) 和佐勝史，高木洋治，原田徳蔵，飯干泰彦，野瀬恵介，根津理一郎，岡田 正：在宅静脈栄養法 (HPN) - 16年における経験，今後の展望，日本外科学会総会 (97), 4.9 - 11, 1997.
- 31) 和佐勝史，飯干泰彦，野瀬恵介，高木洋治，原田徳蔵，鎌田振吉，岡田 正：小児在宅中心静脈栄養法施行症例のカテーテル管理の検討，近畿外科学会 (161), 4.19, 1997.
- 32) 和佐勝史，飯干泰彦，野瀬恵介，鎌田振吉，高木洋治，岡田 正：Nutrition Support Team (NST) の現状と問題点，日本 Sando K. アセスメント研究会 (20), 5.24, 1997.
- 33) 和佐勝史，飯干泰彦，野瀬恵介，高木洋治，原田徳蔵，岡田 正：小児 HPN 症例の栄養管理上の問題点，日本小児外科学会総会 (34), 6.4 - 6, 1997.
- 34) 和佐勝史，井手佐知子，山東勤弥，原田徳蔵，高木洋治，岡田 正：HPN 施行中に細菌性左房内血栓を生じた1例，HPN 研究会 (12), 9.20, 1997.
- 35) 和佐勝史，高木洋治，原田徳蔵，岡田 正：短腸症候群の

- 長期栄養管理上の問題点, 日本消化器病学会近畿支部例会 (67), 9.13, 1997.
- 36) 山東勤弥, 和佐勝史, 井手佐知子, 原田徳蔵, 高木洋治, 岡田 正: 中心静脈カテーテル閉塞に対する NaOH ロック法の有用性, HPN 研究会 (12), 9.20, 1997.
- 37) 飯干泰彦, 吉田 洋, 山東勤弥, 和佐勝史, 根津理一郎, 高木洋治, 岡田 正: 心電図ガイド下の中心静脈カテーテル挿入法, 小児外科わからん会 (37), 3.15, 1997.
- 38) 飯干泰彦, 和佐勝史, 松尾吉庸, 大植孝治, 野瀬恵介, 根津理一郎, 八木 誠, 鎌田振吉, 高木洋治, 井村賢治, 岡田 正: 小児における残存小腸 30cm 以下症例の長期管理上の問題点 (34), 日本小児外科学会総会, 6.4 - 6, 1997.
- 39) 飯干泰彦, 井上正宏, 垣田晴樹, 野瀬恵介, 山東勤弥, 和佐勝史, 根津理一郎, 鎌田振吉, 高木洋治, 岡田 正: 小腸大量切除例における尿素サイクル構成アミノ酸, アンモニア原性アミノ酸の検討, 日本消化吸収学会総会 (28), 7.4 - 5, 1997.
- 40) 飯干泰彦, 井上正宏, 垣田晴樹, Kai Chen, 野瀬恵介, 和佐勝史, 根津理一郎, 鎌田振吉, 高木洋治, 岡田 正: 小腸大量切除例 (残存小腸 30cm 以下) におけるアミノグラムの検討, 日本外科・代謝栄養学会 (34), 7.9 - 11, 1997.
- 41) 野瀬恵介, 陳 恽, 垣田晴樹, 飯干泰彦, 和佐勝史, 高木 洋治, 鎌田振吉, 岡田 正: ラット敗血症の各時期からみた腸管グルタミン代謝の検討, 日本外科・代謝栄養学会 (34), 7.9 - 11, 1997.
- 42) 崔 黎, 高木洋治, 和佐勝史, 飯干泰彦, Jesmine Khan, 根津理一郎, 岡田 正: Interleukin-1 induces diarrhea associated with inducible nitric oxide synthase mRNA expression in intestine of zinc deficient rats, 日本静脈・経腸栄養研究会 (12), 2.6 - 7, 1997.
- 43) 崔 黎, 高木洋治, 和佐勝史, 飯干泰彦, Jesmine Khan, 垣田晴樹, 山東勤弥, 根津理一郎, 岡田 正: 亜鉛欠乏ラットの皮膚症状出現における NO の関与についての検討, 日本微量元素学会 (8), 7.23 - 24, 1997.
- 44) 垣田晴樹, 飯干泰彦, 野瀬恵介, 鎌田振吉, 岡田 正, 高木洋治: 血漿アミノ酸値の基準値に関する検討, 日本栄養アセスメント研究会 (20), 1997.
- 45) 垣田晴樹, 和佐勝史, 山東勤弥, 飯干泰彦, 野瀬恵介, 鎌田振吉, 高木洋治, 岡田 正: 栄養指標としての血漿グルタミン値の意義, 近畿輸液栄養研究会 (7), 9.6, 1997.
- 46) 垣田晴樹, 和佐勝史, 飯干泰彦, 野瀬恵介, 鎌田振吉, 高木洋治, 岡田 正: 造血幹細胞移植症例における血漿アミノ酸値の検討, 日本静脈・経腸栄養研究会 (12), 2.6 - 7, 1997.
- 47) 中西千里, 和佐勝史, 垣田晴樹, 野瀬恵介, 飯干泰彦, 高木洋治, 岡田 正: 高齢者の HPN 症例に関する問題点, 在宅医療研究会 (8), 6.21, 1997.
- 48) Azuma T, Nakai H, Fukuzawa M, Wasa M, Takagi Y, Okada A: Potential candidates for small bowel transplantation: From our experience and survey of home parenteral nutrition in Japan, International symposium on intestinal transplantation (5), 7.30 - 8.2, 1997.
- 49) Cui L, Takagi Y, Wasa M, Iiboshi Y, Khan J, Nezu R, Okada A: Interleukin-1  $\alpha$  challenge accelerates diarrhea in zinc-deficient rats, ASPEN (21), 1.26 - 29, 1997.
- 50) 鎌田佳奈美, 鈴木敦子, 楠木野裕美, 堀井理司, 小山田浩子, 友田尋子: 虐待を受けた子どもへの入院ケアの分析, 第 7 回日本小児看護研究学会, 1997.
- 51) 楠木野裕美, 鈴木敦子, 鎌田佳奈美, 堀井理司, 小山田浩子, 鈴木泰子: 被虐待児のケアに対する看護婦の認識の全像, 第 44 回小児保健学会, 1997.
- 52) 里村節子, 上田博美, 富永信子, 末澤廣子, 石本章子, 堀井理司, 那須正夫, 谷佳津治, 山口進康: SLP 法による迅速簡便な微生物モニタリング - 院内微生物調査と手洗い指導への応用 - 第 12 回日本環境感染学会総会, 1997.
- 53) 堀井理司, 高谷嘉枝, 森 恵美, 安藤広子, 太田喜久子, 岡谷恵子, 片田範子, 勝田仁美, 川村佐和子, 土居洋子, 中西睦子, 南 裕子: 薬害エイズ問題に関する看護職の倫理的認識と対応の実態, 第 3 回 HIV/AIDS 看護研究会, 1997.
- 54) 山地建二, 中嶋有加里: 「インドシナ母子保健看護コース」について, 日本国際保健医療学会, 関西地方大会第 15 回大会, 1997.
- 55) 小島美恵, 小阪佳代, 安田直史, 中嶋有加里, 山地建二: インドシナ母子保健看護コース (JICA) - ラオスからの研修員を受け入れて-, 第 12 回日本国際保健医療学会, 1997.
- 56) 小山田浩子, 山地建二, 鈴木敦子, 原口範子, 軸丸清子, 米田美幸保, 大迫靖子, 池淵佳秀: 思春期外来における看護の役割 - 保健指導を「癒しの場」として-, 第 16 回日本思春期学会, 1997.
- 57) 小山田浩子, 中嶋有加里, 山地建二, 原口範子, 軸丸清子, 米田美幸保, 大迫靖子, 池淵佳秀: 思春期外来を受診する患者がもつ健康上の問題と看護 - こころのケアの視点から -, 第 38 回日本母性衛生学会, 1997.
- 58) 中嶋有加里, 田本春美, 白井文恵, 小山田浩子, 田間恵實子, 土肥義胤, 山地建二, 光田信明, 福家信二, 村田雄二, 益弘和雄, 梶本 勝: 妊娠末期 (36 週) における膣内細菌叢スクリーニングの意義, 第 38 回日本母性衛生学会, 1997.
- 59) 水畠喜代子, 中嶋有加里, 羽座典子, 藤岡千秋, 長谷川利典, 田中春美, 小山田浩子, 田間恵實子, 山地建二: 若い両親と児を支援するための地域社会システムの基礎的研究 (第 3 報) - 大都市における乳児をもつ母親の意識調査 -, 第 38 回日本母性衛生学会, 1997.
- 60) T. Seki, Y. Orita, K. Yamaji, A. Shinoda: Simultaneous determination of hypoxanthine, xanthine and uric acid by column-switching liquid chromatography, 21st International Symposium on High Performance Liquid Phase Separation and Related Techniques 1997.
- 61) 田間恵實子: 2005 年患者のための情報医療, 第 17 回医療情報連合大会, 組織委員長講演, 1997.

#### 4. 研究助成金

- 1) 厚生省心身障害研究, 松井一朗(代表), 小林美智子, 納谷保子, 鈴木敦子: 母子保健における養育問題事例への援助実態.
- 2) 文部省科学研究費(一般C), 鈴木敦子(代表), 楠木野裕美, 鎌田佳奈美, 堀井理司, 小山田浩子: 被虐待児のケアニーズのアセスメント指標開発とその効果測定.
- 3) 文部省科学研究費(一般B), 蝦名美智子(代表), 片田範子, 鈴木敦子, 筒井真奈美, 村田恵子他: 検査・手術を受ける子どもへのインフォームドコンセント-看護の実態とケアモデルの構築-
- 4) 平成9年度文部省科学研究費(奨励研究A), 中嶋有加里: 産後の母性健康支援システムの構築
- 5) 平成9年度文部省科学研究費補助金(一般C), 堀井理司(代表), 原田徳蔵, 小山田浩子, 西脇由枝: 看護学生の麻疹・水痘・風疹・ムンプス抗体の保有状況と感染管理対策に関する研究
- 6) 平成9年度文部省科学研究費補助金(奨励研究A), 鈴木泰子: 病気の子どもと家族におけるケアリングの意味
- 7) 文部省科学研究費(基盤研究B), 高木洋治(代表), 岡田正, 山東勤弥, 平吹度夫: 新たな生体内マンガン指標; 脳MRI所見, T1値と血中Mn濃度の関連について

### 成人・老人看護学講座

#### 1. 論文(原著・総説・報告書等)

- 1) 高橋章子: 救急医療におけるコラボレーション, 救急医療研究・試験財団準機関誌「救急医療ジャーナル」, 1997年6月号(p2~5)
- 2) 高橋章子: 観察とモニタリング, 看護技術, メディカルフレンド社, 1997年6月号(p9~12)
- 3) 高橋章子: 救急入院時の看護-看護婦と医師の連携, 消化器外科NURSING, メディカ出版, 1997年6月号
- 4) 高橋章子: 認定看護婦の役割, Emergency Nursing, メディカ出版, 1997年夏季増刊(25~30)
- 5) Akiko Takahashi, Sakayu Terashi, Kiyoji Nagao, Masaru Iwakiri, Hideto Hirotune, Muney Ohta: Feature of stress of Nurses in Affected Hospitals at Earthquake Disaster, Prehospital and Disaster Medicine, July-September 1997.
- 6) 岩切昌宏, 長尾喜代治, 広常秀人, 高橋章子, 寺師栄, 河村葉子: 阪神大震災を振り返って, 大阪教育大学紀要, 1997.
- 7) 江川隆子, 山本裕子, 難波光義, 山本浩司, 石本一郎, 本倉雅信, 花房俊昭, 石橋達朗, 河野典夫: 糖尿病眼合併症をもつ患者に対するチーム医療と患者教育に関する実態調査I, 糖尿病患者教育に対する医療チームの現状-, 日本糖尿病眼学雑誌2, 18~1, 1997.
- 8) 山本裕子, 江川隆子, 難波光義, 山本浩司, 石本一郎, 本倉雅信, 花房俊昭, 石橋達朗, 河野典夫: 糖尿病眼合併症をもつ患者に対するチーム医療と患者教育に関する実態調査II, 教育に携わる看護婦の現状-, 日本糖尿病眼学雑誌2, 22~25, 1997.
- 9) 松木光子, 小笠原知枝, 江川隆子, 大野ゆう子, 城戸良弘, 大谷英子, 山本裕子, 梶谷武久: 文部省科学研究補助金(基盤研究B)研究成果報告, P.1~127, 1997.
- 10) 江川隆子: 糖尿病患者における下肢閉塞性動脈硬化症の危険因子に関する検討-Lp(a)及びアポEの分析-, 大阪大学医学部雑誌, 49, 4~5号, 31~42, 1997.
- 11) 江川隆子: 実行できる看護計画を立てるポイント, エキスパートナース, 13卷10号, 38~41, 1997.
- 12) 後藤啓恵, 入船盛弘, 萩野敏: イネ科花粉症の臨床的検討, 耳鼻臨床, 90(1): 25~29, 1997.
- 13) 萩野敏, 渡邊信一郎, 入船盛弘, 原田保: アレルギー性鼻炎症例における陽性アレルゲンについての検討, CAP法を用いて, 耳鼻, 43(3): 326~333, 1997.
- 14) 萩野敏: のどの炎症後の出現する持続性の咳に対するスピロメトリーの効果, 薬理と治療, 25(7): 1813~1816, 1997.
- 15) 中崎孝志, 増山敬祐, 福井裕行, 萩野敏, 石川哮: ラット三叉神経細胞におけるPAFのヒスタミンH<sub>1</sub>receptor mRNA発現に及ぼす影響, 耳鼻免疫アレルギー, 15(2): 66~67, 1997.
- 16) 萩野敏, 入船盛弘, 後藤啓恵: アスピリン喘息に伴う鼻茸にブランルカストは有効か, 耳鼻, 43(6): 813~817, 1997.
- 17) 萩野敏: 花粉症の予防法, からだの科学, 193: 58~61, 1997.
- 18) 萩野敏: スギ花粉症の治療薬剤, 治療, 79(2): 657~662, 1997.
- 19) 萩野敏: 花粉症をめぐって-最近の動向と治療の考え方-, Pharma Medica, 15(2): 101~104, 1997.
- 20) 萩野敏: 抗ヒスタミン作用のある抗アレルギー薬-アレルギー性鼻炎, 総合臨床, 46(4): 694~697, 1997.
- 21) 萩野敏: 鼻アレルギーの診断法, 耳喉頭頸, 69(10): 667~672, 1997.
- 22) 城戸良弘, 矢野雅彦: 輸液管理における合併症・偶発事故とその対策(特集-術中・術後の輸液管理と輸血), オペナーシング, 12(3), 33~39, 1997.
- 23) 真壁玲子: 海外がん看護事情, アメリカ編-Breast Cancer Symposiumに参加して-, がん看護, 2(4), 298~299, 1997.
- 24) Makabe, R.: Social support, psychological, and physical states among Japanese women with breast cancer, Dissertation Research Study, University of Maryland, U.S.A., UMI Number: 9736161, UMI Dissertation Services, Ann Arbor, MI, A Bell & Howell Company, 1997.
- 25) 河口てる子: 看護調査研究の実際, 基本的集計と相関係数, 看護研究, 30(1), 77~82, 1997.2.15
- 26) 河口てる子, 丸山博, 川田智恵子: 青年前期・思春期インスリン依存型糖尿病患者の家族環境と糖尿病コントロール, 日本糖尿病教育・看護学会誌, 1(1), 7~16, 1997.3.15

- 27) 河口てる子：糖尿病教育の質的向上のために今必要な活動－教育担当者ネットワーク、研究の蓄積・実践の改善－、日本糖尿病教育・看護学会誌, 1 (1), 43 - 46, 1997.3.15
- 28) 河口てる子, 伊達久美子, 秋山定子, 川越博美, 寿賀真弓, 数藤綾子, 田中信子, 浜辺千春, 望月葉子, 田島悦子：訪問看護における在宅療養者・家族の自己決定とその支援、訪問看護と介護, 2 (4), 268 - 274, 1997.4.15
- 29) 河口てる子：看護調査研究の実際 統計編②,  $\chi^2$ 検定の使い方と検定の意味、看護研究, 30 (2), 77 - 83, 1997.4.15
- 30) 河口てる子：在宅看護における患者・家族主体化の可能性、日本保健医療社会学論集, 第8号, 9 - 17, 1997.5.18
- 31) 河口てる子：看護調査研究の実際 統計編③, t検定とノンパラメトリック検定、看護研究, 30 (3), 83 - 89, 1997.6.15
- 32) 河口てる子：看護調査研究の実際 統計編④, 分散分析、看護研究, 30 (4), 7 - 83, 1997.8.15
- 33) 河口てる子：看護調査研究の実際 尺度開発のプロセス、分散分析、看護研究, 30 (5), 87 - 93, 1997.10.15
- 34) 河口てる子：健康教育におけるモデリング理論の将来、看護研究, 30 (6), 23 - 28, 1997.12.15
- 35) 河口てる子：看護調査研究の実際 尺度の信頼性検討、看護研究, 30 (6), 85 - 89, 1997.12.15
- 36) 河口てる子, 伊達久美子, 吉谷優子, 丸山 博, 川田智恵子：インスリン依存型糖尿病患者の自尊感情と糖尿病コントロールの関係、日本糖尿病教育・看護学会誌, 1 (2), 32 - 38, 1997.12.15
- 37) 丸橋佐和子：特定機能病院退院後の中高年齢患者と家族の心身の健康状態と援助のあり方に関する総合的研究、笠川医学医療研究財団研究助成、看護職員等研究報告書, 第4号 (1996), 1997年7月
- 38) 丸橋佐和子, 山本裕子, 伊藤憲子：内視鏡下手術の現状と看護の役割、看護技術, 43 (9) 102 - 106, 1997.
- 39) 丸橋佐和子：症状別アセスメント 脱水、臨牀看護, 23 (10), 1474 - 1480, 1997.
- 40) 丸橋佐和子, 池上雅子, 古田桂子：肺がん患者における終末期ケア、がん看護, 2 (4), 286 - 289, 1997.
- 41) 丸橋佐和子：在宅要介護高齢者の介護者における介護負担と健康状態、日本医事新報, No3831, 9, 112, 1997.
- 42) 大谷英子, 松木光子, 山本裕子, 小笠原知枝, 江川隆子, 大野ゆう子：看護診断カテゴリーの「使用頻度」「重要度」に関する研究、看護診断, in print.
- 43) 山本裕子, 松木光子, 大谷英子, 江川隆子, 小笠原知枝, 大野ゆう子：NANDA 看護診断ラベルの適切性の評価、看護診断, in print.

## 2. 単行本（著書、翻訳本）

- 1) 高橋章子, 瀬川久江：熱傷患者の看護, p174 ~ 195 (氏家幸子, 泉キヨ子, 大森武子編集：成人看護学-B, 急性期にある患者の看護I, 廣川書店, 1997年5月)
- 2) 江川隆子, 大久保祐子, 大谷真千子, 奥宮暁子, 勝田宏美他：考える基礎看護技術, 廣川書店, 1997.

- 3) 江川隆子, 小田正枝, 川野雅資, 松田たみ子, 川本淳子, 監訳：クリティカルシンキング－看護過程と看護診断－, 廣川書店, 1997.
- 4) 井部俊子, 根本多喜子, トニー・ハリソン, スザンヌ・Bヘンリー, 中木高夫, 松木光子, 江川隆子他：看護診断－本質による21の論考, 看護協会出版会, 1997.
- 5) 萩野 敏：アレルギー性鼻炎・花粉症とは、アレルギー性鼻炎・花粉症の診断と治療（監修：萩野敏）, pp7 - 19, メディカルレビュー社, 大阪, 1997.
- 6) 河口てる子：慢性期にある患者の看護（森田夏実, 大西和子編, 臨床看護学叢書第2巻経過別看護）, メディカルフレンド社, 128 - 165, 1997.8
- 7) 山本裕子：看護介入と評価, 小笠原知枝, 松木光子監訳、「ペタードキュメンテーション－看護過程に沿った看護記録－」, 南江堂, 122 - 152, 1997.
- 8) 山本裕子：糖尿病患者に対する外来看護（慢性期）（森田夏実, 大西和子編, 臨床看護学叢書第2巻, 経過別看護）, メディカルフレンド社, 247 - 254, 1997.
- 9) 山本裕子：SLE患者に対する看護（慢性期）（森田夏実, 大西和子編, 臨床看護学叢書第2, 経過別看護）, メディカルフレンド社, 254 - 267, 1997.

## 3. 学会発表（抄録, Proceedings）

- 1) 里村節子, 上田博美, 富永信子, 末澤広子, 石本章子, 堀井理司, 谷佳津治, 那須正夫：SP法による迅速簡便な微生物モニタリング, 第12回環境感染学会総会, 1997年2月
- 2) 寺師栄, 高橋章子, 岩切昌宏, 長尾喜代治, 広常秀人, 太田宗夫：阪神大震災における被災地病院看護婦のストレス - 6基幹病院と激震地中小病院の比較, 日本集団災害研究会, 1997年10月
- 3) 高橋章子, 寺師栄, 岩切昌宏, 長尾喜代治, 広常秀人, 太田宗夫：災害看護体制に関する被災地看護婦の意識調査, 日本救急医学会, 看護部会, 1997年11月
- 4) 寺師栄, 高橋章子, 岩切昌宏, 長尾喜代治, 広常秀人, 太田宗夫：災害看護におけるボランティアの在り方, 日本救急医学会, 看護部会, 1997年11月
- 5) 長尾喜代治, 岩切昌宏, 広常秀人, 寺師栄, 高橋章子, 太田宗夫：阪神淡路大震災における精神保健調査2－看護婦として被災者として, 日本救急医学会, 1997年11月
- 6) 萩野 敏：耳鼻科疾患と添加物, 第37回日本アスピリン喘息研究会, 1997.
- 7) 萩野 敏：アスピリン喘息について, 第114回兵庫県耳鼻咽喉科医会臨床懇話会, 第38回兵庫県鼻アレルギー研究会, 1997.
- 8) 萩野 敏：シンポジウム『アレルギー性鼻炎, 最近のトピック－耳鼻科から他科に』“いわゆるアスピリン過敏症における鼻病変”, 第47回日本アレルギー学会総会, 1997.
- 9) 萩野 敏：顔面神経麻痺とウイルス感染－特にヘルペスウイルスについて-, 第123回兵庫県耳鼻咽喉科医会臨床懇話会, 1997.

- 10) 萩野 敏：耳鼻科からみたアスピリン喘息，第 16 回アレルギー研究のタベ，1997.
- 11) 萩野 敏，入船盛弘，後藤啓恵：アスピリン喘息に伴う鼻茸にブランルカストは有効か，第 9 回日本アレルギー学会春季臨床大会，1997.
- 12) 河口てる子：Critical Thinking と主体的・能動的な行動力の育成，第 28 回日本看護学会看護教育分科会，大阪厚生年金会館，1997.8.8
- 13) 鹿島泰子，山下園美，森下泰世，河口てる子：救急部における看護体制の質的評価－医師への面接調査から－，第 25 回日本救急医学会，東京京王プラザ，1997.11.26
- 14) 河口てる子，土屋陽子，安酸史子，丸橋佐和子他：患者教育における行動変容へのとっかかり言動と看護ケアの検討，第 17 回日本看護科学学会，神戸国際会議場，1997.12.6
- 15) 丸橋佐和子，柳井勉：特定機能病院退院の中高齢患者家族の心身の健康状態と援助のあり方に関する総合的研究，第 12 回日本保健医療行動科学会，1997.
- 16) 丸橋佐和子：特定機能病院退院の中高齢患者の心身の健康状態と援助のあり方に関する総合的研究，第 17 回日本看護科学学会，1997.
- 17) 小笠原知枝，松木光子，大谷英子，山本裕子，江川隆子，大野ゆう子：「ボディイメージの障害」の診断指標に関する妥当性研究，看護診断，2 (2)，64 – 65，1997.
- 18) 山本裕子，松木光子，大谷英子，江川隆子，小笠原知枝，大野ゆう子：「活動不耐」の診断指標に関する妥当性研究，看護診断，2 (2)，第 3 回日本看護診断学会学術大会プログラム・抄録集，62 – 63，1997.
- 19) 吉谷優子：精神科リハビリテーションにおける援助－ある精神障害者共同作業所を事例として－，第 56 回日本公衆衛生学会総会，パシフィコ横浜，1997.10

#### 4. 研究助成

- 1) 平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究 C），石本章子（代表），岩切昌宏，田中由紀子，河村葉子，丸橋佐和子：わが国の災害看護の現状分析と災害看護学の構築に関する研究
- 2) 平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究 C），江川隆子（代表），萩野 敏，河口てる子，山本裕子，伊達久美子，花房俊昭：糖尿病性神経・血流合併症に関する新しい看護診断の指標とその開発
- 3) 平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究 C），丸橋佐和子（代表），石本章子，城戸良弘，升谷英子，河村葉子：老人看護教育方法の開発に関する研究－装具による疑似体験を導入した学習方法の検討
- 4) 平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究 B），河口てる子（代表），江川隆子，丸橋佐和子，伊達久美子，升谷英子，山本裕子，土屋陽子，安酸史子他：慢性疾患患者の主体性，自己決定とセルフケア推進のための患者教育方法の開発
- 5) 平成 9 年度文部省科学研究費補助金（基盤研究 A），川田智

- 恵子（代表），山崎喜比古，吉田 亨，田村 誠，河口てる子，武田 文，江川 緑：保健医療福祉領域での生活に関する実用的スケールの考察・開発と方法の理論化
- 6) 文部省科学研究費（奨励研究 A），升谷（大谷）英子：食道癌術後患者の QOL に関する検討
  - 7) 平成 9 年度文部省科学研究費（奨励研究 A），山本裕子：糖尿病性合併症を有する患者の QOL に関する研究－糖尿病性腎症保存療法期にある患者の自己管理に焦点を当てて－
  - 8) 平成 9 年度文部省科学研究費（奨励研究 A），伊達久美子：在宅療養者・家族の自己決定を支える訪問看護に関する研究

#### 地域看護学講座

##### 1. 論 文（原著，総説，報告書）

- 1) 早川和生：多胎児のファミリー・ケア及び家族支援システムに関する開拓的研究，三菱財團報告書，360 – 361，1997.
- 2) Yokoyama Y., Shimizu T., Hayakawa K.: Depressive states and health problems in caregivers of the disabled elderly at home, Environmental Health and Preventive Medicine, 1 (1), 165 – 170, 1997.
- 3) 横山美江 清水忠彦 由良晶子 早川和生：多胎児をもつ母親の心身の疲労と育児協力状況 日本公衆衛生雑誌 44 (2), 81 – 88, 1997.
- 4) Yamada K, Moriguchi A, Morishita R, Aoki M, Nakamura Y, Mikami H, Oshima T, Ninomiya M, Kaneda Y, Higaki J and Ogihara T : Efficient oligonucleotides delivery using HVJ-liposome method in the central nervous system, American Journal of Physiology 271:R1212 – R1220, 1996.
- 5) Masuo K, Mikami H, Ogihara T and Tuck ML : The Prevalence of hyperinsulinemia in young, non-obese, Japanese population. Journal of Hypertension 15:157 – 165, 1997.
- 6) Masuo K, Mikami H, Ogihara T and Tuck ML : Sympathetic nerve hyperactivity precedes hyperinsulinemia and blood pressure elevation in a young, non-obese Japanese population, American Journal of Hypertension 10 : 77 – 83, 1997.
- 7) Masuo K, Mikami H, Ogihara T and Tuck ML : Metabolic effects of long-term treatments with nifedipine-retard and captopril in young hypertensive patients, American Journal of Hypertension 10 : 600 – 610, 1997.
- 8) Yo Y, Moriguchi A, Higaki J, Nagano M, Nakano N, Kamide K, Yu H, Mikami H and Ogihara T : The renal effects of an angiotensin II antagonist in stroke-prone spontaneously hypertensive rat. Nephron 76 : 466 – 471, 1997.
- 9) Zhu DN, Moriguchi A, Mikami H, Higaki J and Ogihara T : Central amino acids mediate cardiovascular response to

- angiotensin II in the rat Brain Research Bulletin, 1997 (in press)
- 10) 萩原俊男, 三上 洋, 東 純哉, 青木敏郎, 丸山一伸: AD - 4833 高齢者薬物動態試験, 臨床と研究, 74:1307 - 1318, 1997.
  - 11) 姚 香景, 守口 篤, 長野正広, 三上 洋, 桜垣寛男, 萩原俊男: 食塩感受正常血圧者における夜間交感神経活性の検討, Therapeutic Research, 18: 155 - 159, 1997.
  - 12) 三上 洋, 萩原俊男: 老年高血圧患者の QOL に対するテモカブリルの影響の検討, Therapeutic Research, 17: 4575 - 4579, 1996.
  - 13) 三上 洋, 萩原俊男: 老年高血圧と QOL, Current Topics, 1: 1 - 3, 1997.
  - 14) 萩原俊男, 三上 洋 他: 診療基準研究, 老年者高血圧治療研究, Japanese Circulation Journal, 61:739 - 740, 1997.
  - 15) 萩原俊男, 三上 洋 他: 日循学術委員会研究班報告, 老年高血圧治療研究, 循環器専門医, 5: 335 - 341, 1997.
  - 16) 上原ます子, 青木菜穂子, 中村裕美子, 柳生敏子: 「高齢患者退院指導・継続看護のマニュアル」を用いた看護の継続性の検討 - その 1, 看護管理, 7 (1), 56 - 63, 1997.
  - 17) 中村裕美子, 柳生敏子, 立部 巴, 上原ます子, 青木菜穂子: 「高齢患者退院指導・継続看護のマニュアル」を用いた看護の継続性の検討 - その 2, 看護管理, 7 (2), 129 - 135, 1997.
  - 18) 高沢洋子, 上原ます子, 青木菜穂子, 松尾高子: 訪問看護の質的向上をめざした評価記録の検討, 平成 8 年度訪問看護・在宅ケア研究助成事業報告書, 111 - 120, 1997.
  - 19) 上原ます子, 青木菜穂子他: 「高齢患者退院指導・継続看護のマニュアル」を用いた看護の継続性の研究, 継続看護研究会, 1 - 107, 1997.
  - 20) 石井京子, 上原ます子, 田内規子: 高齢者へのターミナルケアに関する研究 - 高齢者と家族の望む死の看取りおよび病院における援助のあり方 -, 大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告集, Vol.10, 13 - 18, 1997.
  - 21) 中村裕美子, 上原ます子, 青木菜穂子, 松尾高子他: 「高齢患者の退院指導・継続看護のマニュアル」を用いた保健・医療・福祉の連携に関する研究, 大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告集, Vol.10, 49 - 56, 1997.
  - 22) 上原ます子, 中村裕美子, 柳生敏子, 青木菜穂子, 松尾高子: 高齢者に対する継続看護の向上及び体系化に関する研究, 平成 8 年度看護研究助成事業看護研究集録 5, 木村看護教育振興財団, 1997.
  - 23) 伊藤美樹子, 山崎喜比古, 福田正人, 鈴木一郎, 小国弘量: 「てんかんをもつ人の「てんかんであること」に伴う経験の質的分析 - 病気を匿すことを中心に -, 保健医療社会学論集 (投稿中)
  - 24) 伊藤美樹子, 山崎喜比古: 「てんかんをもつ人の「てんかんである」という情報の操作に関する質的研究」; 生活者主体の健康確保とその支援環境に関する研究 - 現状分析と環境構築に向けて, 文部省科研費研究成果報告書 (代表研究者: 川田智恵子), 1997 年, 103 - 109.
- ## 2. 単行本 (著書, 翻訳本)
- 1) 早川和生: 調査研究 in 金川克子編「地域看護学研究」, メジカルフレンド社, 1997.
  - 2) 早川和生編: 看護プレゼンテーションの基本, 医学書院, 1997.
  - 3) 早川和生, 他: 門真市母子保健マニュアル, 門真市役所, 1997.
  - 4) 三上 洋, 萩原俊男: アンジオテンシンⅡアナログ, 「アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬のすべて」, 萩原俊男, 菊池健次郎, 猿田享男, 日和田邦男, 宮崎瑞夫編, 先端医学社, 東京, 75 - 80, 1997.
  - 5) 三上 洋, 萩原俊男: 低血圧, 「老年医学テキスト」, 日本老年医学会編, メディカルビュー社, 東京, 216 - 218, 1997.
  - 6) 三上 洋, 萩原俊男: わが国における大規模試験の現状, 心臓病診療プラクティス - 心疾患の薬物治療を考える, 笠貫宏編, 文光堂, 東京, 116 - 117, 1997.
  - 7) 萩原俊男, 三上 洋: 個別化治療と QOL, 循環器疾患の薬物療法, 矢崎義雄編, 南江堂, 東京, 15: 65 - 71, 1997.
  - 8) 三上 洋: カルシウム拮抗薬と QOL, 実地診療におけるカルシウム拮抗薬の手引き (改訂版), 日和田邦男, 萩原俊男, 猿田享男, 中川雅夫編, 医薬ジャーナル社, 大阪, 122 - 125, 1997.
  - 9) 上原ます子 (氏家幸子監, 土井洋子, 泉キヨ子編): 健康レベルとその向上, 49 - 62, 患者と家族への教育, 125 - 136, 継続看護とチームアプローチ, 163 - 172, 成人看護学, A 成人看護学原論, 廣川書店, 1997.
- ## 3. 学会発表 (抄録, Proceedings)
- 1) Hayakawa K., et al: Lifestyle factors affecting cognitive aging and onset of senile dementia; a cohort study of 2,500 pairs of aging twins, Second International Conference on Community Health Nursing Research, 1997.
  - 2) Kato K., Hayakawa K.: The intrapair comparison of lifestyle of diet in twins, Second International Conference on Community Health Nursing Research, 1997.
  - 3) 城 利美, 中川茂子, 早川和生, 他: 看護学生と看護専門職者の仕事に対する意識の違い, 日本看護学教育学会第7回学術集会講演集, 152, 1997.
  - 4) 早川和生, 加藤則子: 多胎児を産み育てる家族に対する支援を考える, 第 56 回日本公衆衛生学会抄録集, 44 (10), 21, 1997.
  - 5) 仁木敦子, 藤村昌子, 香川裕子, 加藤憲司, 早川和生, 他: 吹田保健所における経過観察児調査報告 (第 1 報), 日本公衆衛生学会, 1997.
  - 6) 香川裕子, 仁木敦子, 加藤憲司, 早川和生, 他: 経過観察児への関わりから保健婦の役割を考える (第 2 報), 日本公衆衛生学会, 1997.

- 7) 5th International symposium on ACE Inhibition & Other Inhibitors of the Renin-Angiotensin system, April 4, 1997, Hong Kong  
Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Effects of long-term treatments with captopril and nifedipine retard on sympathetic nerve activity.
- 8) 12th American Society of Hypertension, May 30 – 31, 1997, San Francisco  
 ①Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Changes in sympathetic activity and insulin sensitivit during body weight reduction in obese subjects.  
 ②Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Effects of age on prevalence of hyperinsulinemia in non-obese Japanese men.  
 ③Masuo K, Mikami H, Ogihara T and Tuck ML : A family history of hypertension and sympathetic nerve hyperactivity are predictors of blood pressure elevation in normotensive subjects.  
 ④Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Gender differences in insulin sensitivity and sympathetic responsiveness in young hypertensives.  
 ⑤Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Trend analysis of the prevalence of hyperinsulinemia during 10years, non-obese Japanse men.
- 9) 1997 World Congress of Gerontology Aug 20, 1997, Adelaide  
Masuo K, Mikami H and Ogihara T : Matabolic and sympathetic effects of long-term treatment with captopril in young and elderly hypertensives.
- 10) 51st Annual Fall Conference, HBP council, AHA Sept 16, 1997, Washington  
Masuo K, Mikami H, Ogihara T and Tuck ML : A family history of hypertension and sympathetic hyperactivity are related with blood pressure elevation during 10years in non-obese normotensices.
- 11) 70th Scientific Session, AHA, Nov 9, 1997, Orlando  
 ①Masuo K, Mikami H, and Tuck ML : Sympathetic hyperactivity is one of the predictor of BP elevation in obese normotensives.  
 ②Masuo K, Mikami H and Tuck ML : Difference in sympathetic activity in obese hypertensives with and without BP reduction caused by body weight reduction.
- 12) 第61回日本循環器学会, 平成9年3月31日～4月2日, 東京  
 ①舛尾和子, 三上 洋, 萩原俊男:高血圧症患者における高インスリン血症, 交感神経活動性亢進の発現頻度への加齢の影響  
 ②舛尾和子, 三上 洋, 萩原俊男:若年肥満高血圧患者の高血圧成因への交感神経活動性と高インスリン血症の関与
- 13) 第70回日本内分泌学会, 平成9年6月3日, 東京  
舛尾和子, 三上 洋, 萩原俊男:若年高血圧患者における降圧治療時の交感神経活動性・反応性の変化
- 14) 第39回日本老年医学会, 平成9年6月19日, 東京  
舛尾和子, 三上 洋, 萩原俊男:変換酵素阻害薬による高血圧長期治療時の交感神経活動性・反応性の変化－若年群・老年群の比較－
- 15) 第20回日本高血圧学会, 平成9年10月31日, 東京  
舛尾和子, 三上 洋, 萩原俊男:日本人一般男性におけるLeptinの血圧値への関与
- 16) 第9回血圧管理研究会, 平成9年12月6日, 京都  
舛尾和子, 三上 洋, 伊藤美樹子, 萩原俊男:正常血圧者における体重変化と血圧変化
- 17) 児玉洋子, 佐藤文子, 下辻早苗, 上原ます子, 小山田浩子他:妊娠・出産・育児における地域病院の役割－妊娠中からの評価と仲間づくりの必要性－, 平成8年度近畿地区看護研究学会集録, 7 – 10, 1997.
- 18) 石井京子, 上原ます子:高齢者のターミナルケアに関する研究－高齢者と家族の望む死の看取りおよび病院における援助のあり方－日本老年社会学会第39回大会報告要旨集, 144, 1997.
- 19) 高沢洋子, 上原ます子, 青木菜穂子, 松尾高子:訪問看護の質的な向上のための評価記録の検討, 第28回日本看護学会集録地域看護, 5 – 7, 1997.
- 20) 森 久乃, 佐藤文子, 上原ます子, 小山田浩子, 吉田孝子他:地域病院産科における育児支援ニーズの早期把握方法の検討－過去1年間に出産した母親への調査結果から－, 第28回日本看護学会集録母性看護, 124 – 126, 1997.
- 21) 上原ます子, 多田羅浩三:高齢者への家族ケア機能の変化と関係要因－入院から退院後への変化－, 第56回日本公衆衛生学会総会抄録集, 936, 1997.
- 22) 伊藤美樹子, 福田正人, 鈴木一郎, 小国弘量, 山崎喜比古:「てんかん」を匿すことと明かすことに関する質的研究, 第23回日本保健医療社会学会
- 23) 伊藤美樹子, 杉原陽子, 吉井清子, 若林チヒロ, 山崎喜比古:てんかんをもつ人々の就労実態と生活適応, 第56回日本公衆衛生学会

#### 4. 研究助成

- 文部省科学研究費（基盤B）, 早川和生（代表）:双子老人の生活環境の比較からみた精神老化・痴呆の危険因子の研究, 成人双生児2,500組の追跡健康調査
- 早川和生（代表）中山隼雄科学技術文化財団研究助成, 双子老人2,500組における「ライフスタイル」, 及び「遊び」行動の比較からみた精神老化と痴呆の予防に関する実証的研究
- 文部省科学研究費（一般C）, 三上 洋（代表）, 守口 篤:高血圧発症における延髓腹外側部での神経伝達物質としてのアミノ酸の役割の検討
- 平成9年度文部省科学研究費（基盤C）, 上原ます子（代

表) : 高齢者介護による家族機能の変容過程の研究

## 病院看護部

### 1. 論 文 (原著, 総説, 報告書等)

- 1) 古田桂子: 第3章 手技指導の実際, 2) 血糖自己測定(SMBG), 今日から始める外来インスリン療法.
- 2) 山下悦子, 浜畠章子: ナーシングプロセス 慢性関節リウマチ患者の看護, クリニカルスタディ, 2. 1997.
- 3) 伊藤憲子, 岡澤恵子, 安藤邦子: モジュール型継続受持方式(松木式)の実際 - 大阪大学医学部附属病院第一外科西9階病棟の場合 -, クオリティケアのための看護方式, 153 - 163.
- 4) 牛田真代: 「冠疾患とリスクファクター」 糖尿病(コラム), ハートナーシング, 5. 1997.
- 5) 西川桃代: 「冠疾患とリスクファクター」 高尿酸血症(コラム), ハートナーシング, 6. 1997.
- 6) 寺本清美: 「冠疾患とリスクファクター」 禁煙(コラム), ハートナーシング, 7. 1997.
- 7) 佐藤浩美: 「冠疾患とリスクファクター」 ライフスタイル(コラム), ハートナーシング, 8. 1997.
- 8) 渋谷絵津子: 多発性外傷患者の看護ポイント, エマージェンシーナーシング, 5. 1997.
- 9) 前川哲: 感染防止対策, 創廻置, エマージェンシーナーシング 夏季増刊号, 1997.
- 10) 吉井美佳, 三木佐登美: 幽門狭窄, 臨床看護事典(第2版)
- 11) 加藤美希, 鍋谷佳子: 胃癌, 臨床看護事典(第2版)
- 12) 西村明子: エッセイ「ナースの余裕」, ハートナーシング, 1.
- 13) 浪下和子, 津田真理, 斎藤恭子, 舛添和子: 4人床総室入院患者のカーテン使用の平等性に関する調査研究 - 共有カーテンの観点から -, 大阪大学看護学雑誌, 3 (1), 1997.
- 14) 小山田浩子, 原口範子, 米田美幸保, 山地建二, 鈴木敦子: 思春期外来受診者の栄養摂取とライフスタイル - 栄養・生活調査から -, 「思春期学」別冊, 15 (3). 309 - 315. 1997.
- 15) 小山田浩子, 原口範子, 大迫靖子, 中嶋有加里, 米田美幸保, 山地建二, 鈴木敦子: 思春期外来における援助に関する研究 - 初期情報からみた受診者の自己像 -, 大阪母性衛生学会雑誌, 33 (1). 86 - 91. 1997.
- 16) 森田輝代: 進行肺癌における呼吸困難, 咳嗽の緩和ケア, 「2. 緩和ケア」「3. インフォームドコンセントと看護の役割」がん看護, 2 (4). 277 - 285. 1997.
- 17) 池上雅子: 肺がん患者における終末期ケア, がん看護, 2 (4). 286 - 289. 1997.
- 18) 小松谷美佐, 池田綾, 菊池素子, 加藤澄玲: 退院後ドナーの健康認識と今後の看護援助, 今日の移植, 10 (5). 1997.
- 20) 柿添真由美, 清水啓子, 安田純子, 根来美由紀, 京力深穂: 脚延長・創外固定をした小児のケア, 整形外科看護, 2 (65), 1997.
- 21) 里村節子: SLP法による迅速簡便な微生物モニタリング -

院内微生物調査と手洗い指導への応用 -, 環境感染, 12 (1).

32. 1997.

- 22) 井上有美子: 「思考過程の変調」から「セルフケア不足」へ, 看護実践のためのアセスメントができる本, 157 - 165. 1997.

### 2. 学会発表

- 1) 上田博美: SLP法による迅速簡便な微生物モニタリング - 院内微生物調査と手洗い指導への応用 -, 第12回日本環境感染学会
- 2) 山下悦子: 慢性リウマチ患者の看護, 近畿地区リウマチのリハビリテーションケア研修会
- 3) 仲島道子: 融光活性染色法を用いた紫外線殺菌製造装置の衛生微生物学的評価, 第12回日本環境感染学会
- 4) 小松谷美佐: 退院後のドナーの健康認識と今後の看護援助, 第30回日本腎移植臨床研究会
- 5) 玉置富子: 特殊検査記録用紙の改善を試みて, 第6回日本心血管インターインシジョン学会
- 6) 佐藤浩美:  $\beta$ 断薬導入が困難であった拡張型心筋症患者の心理状況について, 第45回日本心臓病学会学術集会
- 7) 田墨恵子: 顔面神経麻痺による障害受容の危機過程における看護を考える, 第24回日本脳神経外科看護研究会
- 8) 八田かずよ: 病院情報システム導入前後病棟看護業務量変化と看護支援満足度の多変量分析, 第17回医療情報学連合大会
- 9) 梶原紀子: 除圧型ローリングベッドの使用に関する検討 - 当部での試用経験をもとに -, 第49回日本救急医学会近畿地方会看護部会
- 10) 鹿島泰子: 救急部における看護体制の質的評価 - 医師への面接調査から -, 第25回日本救急医学会総会看護部会
- 11) 高橋佳代: 成人期に達した複雑心疾患者への関わり, 第33回小児循環器学会
- 12) 米谷良美: 看護診断ラベル「不安」の活用状況と今後の方向性, 第3回日本看護診断学会
- 13) 山下和美: ICU症候群の発生関連要因についての考察 - 手術前の心理状態に着目して -, 日本集中治療医学会
- 14) 古庄礼子: 食道がん術後の休息への援助, 日本集中治療医学会看護研究会
- 15) 柿添真由美: 創外固定器装着患者の自己管理に向けての援助, 第10回日本創外固定骨延長学会
- 16) 関本真由子: 体圧分散型支持具の工夫, 第13回眼科看護研究会
- 17) 河村公子: 病院情報システム導入による満足度と業務量変化からみた看護業務支援, 日本医療情報学会, 第13回看護情報システム研究会
- 18) 浪下和子: 4人床室のカーテン使用に対する患者と看護婦の認識の差に関する調査研究, 第28回日本看護学会看護管理
- 19) 池田優子: 正中離開創にできた小腸のパウチングを経験して, 第37回ストーマ研究会
- 20) 古賀真子: ポリプロピレンを素材とした不織布ガウンの使

## 用経験、第19回日本手術医学会総会

- 21) 千賀ゆかり：密着な部分を有する器材に対するプラズマ滅菌とEOG滅菌、第19回日本手術医学会総会
- 22) 原口範子：思春期外来の看護に活かせる患者データベースの構築－個人情報のコンピュータ活用－、第17回医療情報連合大会
- 23) 松井美智子：同種骨髄移植前の薬浴時使用消毒薬の検討、第20回日本造血細胞移植学会総会
- 24) 川原風砂子：拔糸前シャワー浴に対する患者の意識調査、第28回日本看護学会成人看護I
- 25) 清水美穂：中学生の対児感情の良否に関連する要因についての検討、第38回日本母性衛生学会総会
- 26) 安村あづさ：服薬自己管理のプログラム作成を試みて、信貴山シンポジウム
- 1997.11.13
- 17) 功刀久枝（特殊救急部）：救急患者の初療期における家族援助、1997.12.11
- 18) 川戸友紀子（第二内科）：内服自己管理導入後の現状と今後の課題、1997.12.11

## 3. 院内看護研究発表

- 1) 山下和美（集中治療部）：ICU症候群の発生関連要因についての考察－手術前の心理状態に着目して－、1997.1.9
- 2) 川原風砂子（産婦人科）：拔糸前シャワー浴に対する患者の意識調査、1997.1.9
- 3) 川合和世（耳鼻科）：喉頭全摘出術患者のセルフケア援助の検討、1997.2.13
- 4) 川上由香（皮膚科）：成人型アトピー性皮膚炎患者の痒みとストレスとの関係を分析して－独自で作成したアンケート用紙（痒みスコア）を用いて－、1997.2.13
- 5) 石本和子（外科共通）：手術後回復室に収容される患者への時間の知らせ方についての工夫とその効果、1997.6.12
- 6) 根来美由紀（小児外科）：創外固定器装着患者の在宅ガーゼ交換にむけての援助、1997.6.12
- 7) 越智利江（泌尿器科）：退院後の腎提供者（ドナー）の心理と今後の看護援助、1997.7.10
- 8) 真野暁子（眼科）：伏臥位安静時における支持具の試作、1997.7.10
- 9) 阿部マリ（小児科）：面接調査による母親の付き添い状況について、1997.8.14
- 10) 小佐々永子（腫瘍外科）：一般病棟におけるターミナル期患者の家族への援助、1997.8.14
- 11) 多鹿由紀子（血液内科）：渡辺の家族アセスメントを用いた悪性疾患患者と家族への援助、1997.9.11
- 12) 鳩本佳世（脳神経外科）：「組織循環の変調：脳」の使用状況に基づいた診断指標の一考察、1997.9.11
- 13) 糸野香織（特殊診断治療部）：無菌室入室前の不安軽減にVTRを導入して、1997.10.7
- 14) 北川美千代（外来）：外来における待ち時間の実態調査、1997.10.7
- 15) 八木恵津子（手術部）：術前訪問の意識調査と課題－病棟ナースとの連携を通して術前・術後訪問を実施した結果と考察－、1997.11.13
- 16) 研石裕美（第一内科）：心疾患患者の退院後の生活管理について－病気を持ちながらの生活管理の実態調査－、